

船舶事故等調査報告書

平成26年8月28日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2013函第41号
事故等種類	運航不能（機関損傷）
発生日時	平成25年9月6日 22時00分ごろ
発生場所	北海道根室市納沙布岬東北東方沖 納沙布岬灯台から真方位068°348海里付近 （概位 北緯45°20.0′ 東経153°26.8′）
事故等調査の経過	平成25年9月13日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（函館事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	漁船 第五十八 <sup>たいこう</sup> 太幸丸、144トン
船舶番号、船舶所有者等	CB1-60041（漁船登録番号）、角万水産有限会社
乗組員等に関する情報	機関長、四級海技士（機関）
死傷者等	なし
損傷	主機4番シリンダの弁腕及びプッシュロッドに折損等
事故等の経過	本船は、船長及び機関長ほか14人が乗り組み、納沙布岬東北東方沖において、魚群を探索しながら航行中、平成25年9月6日22時00分ごろ、主機から異音及び黒煙が発生したので、機関長が主機を停止した。 機関長は、主機4番シリンダヘッドのボンネットカバーを開放したところ、弁腕及びプッシュロッドに折損が生じていることを確認した。 本船は、主機の運転を断念して海上保安庁へ通報を行い、来援した巡視船に北海道釧路市釧路港沖までえい航され、その後、引船2隻に引き継がれて釧路港へ入港した。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北、風力 4、視界 良好 海象：波高 約1.5m
その他の事項	主機は、入港後の修理業者による点検により、弁腕注油管が詰まっております。弁腕メタルが焼き付いていたことが確認された。
分析	
乗組員等の関与	不明
船体・機関等の関与	あり
気象・海象の関与	なし
判明した事項の解析	本船は、納沙布岬東北東方沖を航行中、弁腕注油管が閉塞したことから、弁腕メタルの潤滑が阻害され、弁腕メタルが焼き付き、弁腕及びプッシュロッドが抵抗によって折損し、主機の運転ができなくなり、運航不能となったものと考えられる。

	<p>弁腕注油管が閉塞に至った状況については、明らかにすることができなかった。</p>
<b>原因</b>	<p>本インシデントは、夜間、本船が、納沙布岬東北東方沖を航行中、弁腕注油管が閉塞したため、弁腕メタルの潤滑が阻害され、弁腕メタルが焼き付き、弁腕及びプッシュロッドが抵抗によって折損し、主機の運転ができなくなったことにより発生したものと考えられる。</p>